

2022年度 卒業時アンケート集計結果

- 調査目的 : 学生の課程全体を通じた成長実感・満足度等について調査し、今後の改善点を検討する。
- 調査対象 : 2022年度3月卒業生 137名
(内訳)
- | | |
|---------|-----|
| ①国際教養学部 | 65名 |
| ②教育学部 | 72名 |
- 調査手法 : アンケート用紙
- 回答数 : 130件 (回答率 : 94.9%)
- 調査主体 : 開智国際大学 IR室

大学生生活を振り返って、満足していますか？

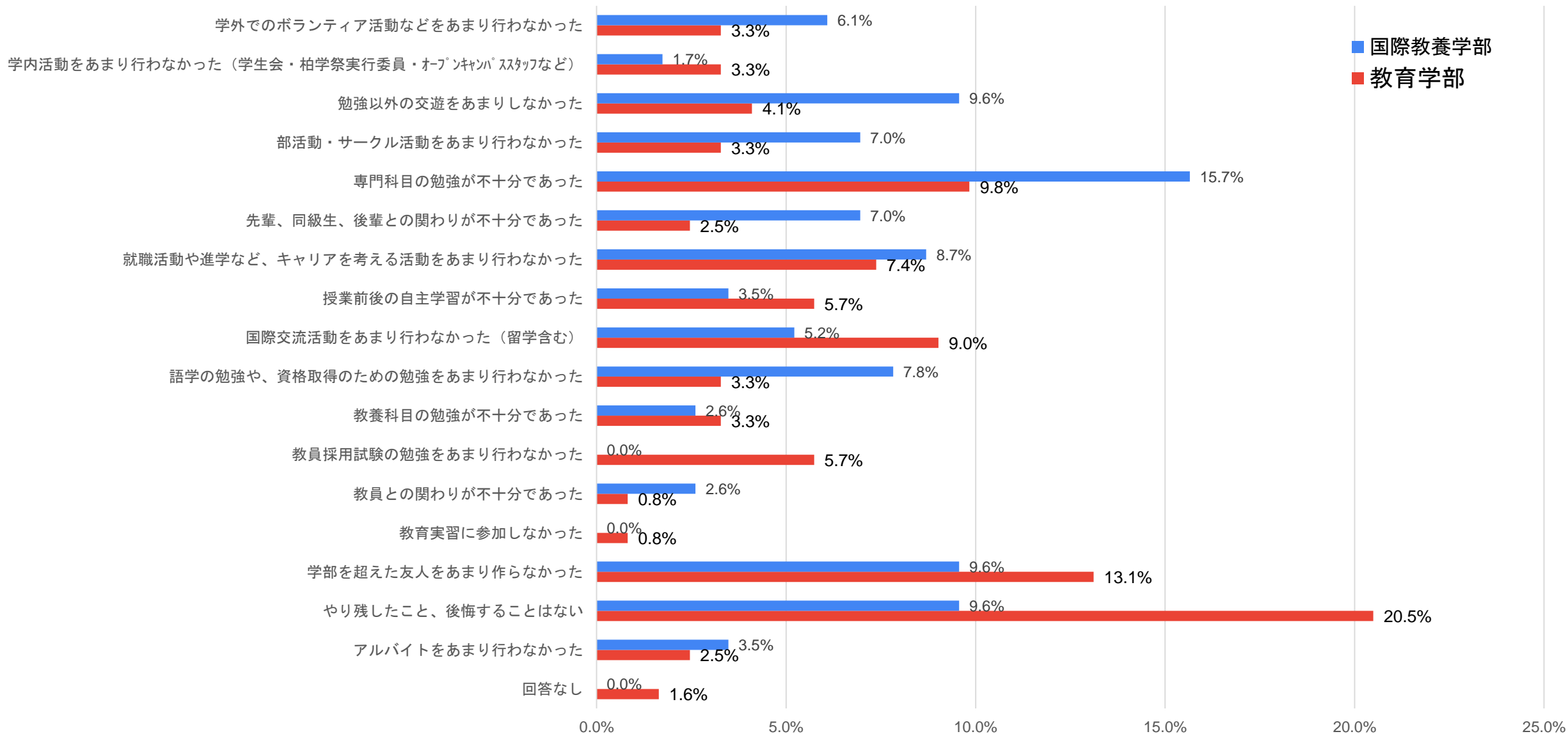
満足度

95.4%

※「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合

学部	満足	どちらかといえば満足
教育学部	68.6%	28.2%
国際教養学部	62.7%	32.2%

大学生活でやり残したこと・後悔



大学生活で経験して良かったことは何ですか？

授業、ゼミナール、教育実習、
部活・サークル、アルバイト

学部	1位	2位	3位
教育学部	教育実習 (50.7%)	部活動、サークル活動 (49.3%)	授業 (47.9%)
国際教養学部	授業 (64.4%)	ゼミナール (54.2%)	アルバイト (33.9%)

卒業後の進路について、どのように思っていますか？

満足度

81.5%

※「希望通りで満足」「希望通りではないが満足」と回答した割合

学部	希望通りで満足	希望通りではないが、満足
教育学部	67.6%	21.1%
国際教養学部	57.6%	15.3%

身につけた能力・資質について〈教育学部〉

- a. 基本的な学力、国際的な視野、教養、知性を伸ばし、併せて、社会貢献する強い意志と倫理観を身につけている。

91.5%

- b. コミュニケーション力、情報収集・活用力を伸ばし、自律的に学ぶ力、自己研鑽力を身につけている。

97.2%

- c. 児童・生徒理解ができ、自己理解、他者理解ができる心理学的なスキルを修得している。

93.2%

- d. 専門的な教育学の知識全般を修得し、クリティカルシンキング、創造的思考力、問題解決力を身につけている。

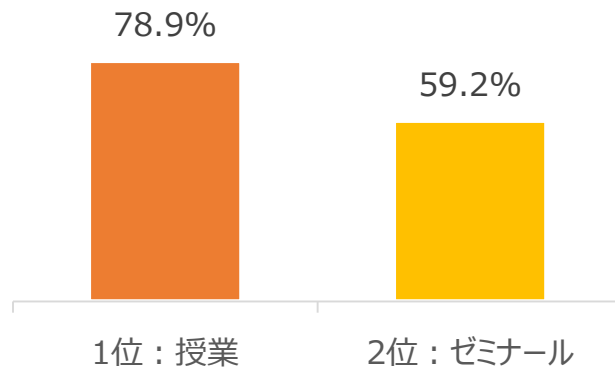
86.4%

- e. 「アクティブ・ラーニング」「ICTの活用」「実践的道德教育」「特別に支援の必要な児童生徒への対応」などの指導力を身につけ、初等教育専攻のものにあっては「さまざまな教科の幅広い知識と指導力」、中等教育専攻のものにあっては「専門の教科に関する高い知識と指導力」を修得している。

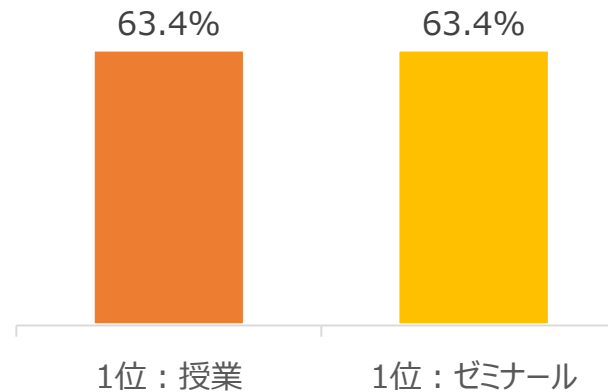
93.0%

能力・資質が身についた活動について〈教育学部〉

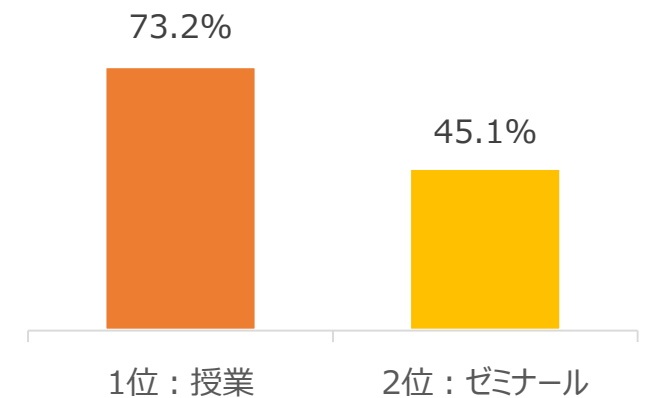
- a. 基本的な学力、国際的な視野、教養、知性を伸ばし、併せて、社会貢献する強い意志と倫理観を身につけている。



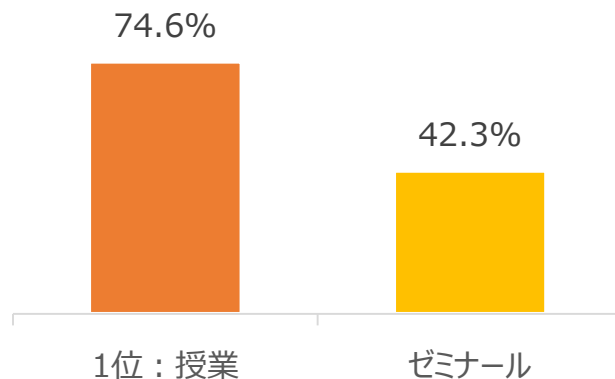
- b. コミュニケーション力、情報収集・活用力を伸ばし、自律的に学ぶ力、自己研鑽力を身につけている。



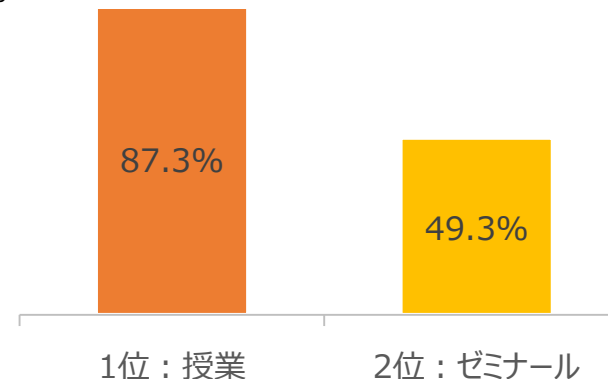
- c. 児童・生徒理解ができ、自己理解、他者理解ができる心理学的なスキルを修得している。



- d. 専門的な教育学の知識全般を修得し、クリティカルシンキング、創造的思考力、問題解決力を身につけている。

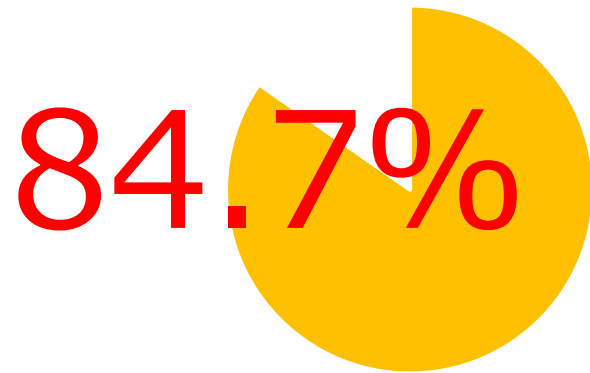


- e. 「アクティブ・ラーニング」「ICTの活用」「実践的道德教育」「特別に支援の必要な児童生徒への対応」などの指導力を身につけ、初等教育専攻のものにあつては「さまざまな教科の幅広い知識と指導力」、中等教育専攻のものにあつては「専門の教科に関する高い知識と指導力」を修得している。

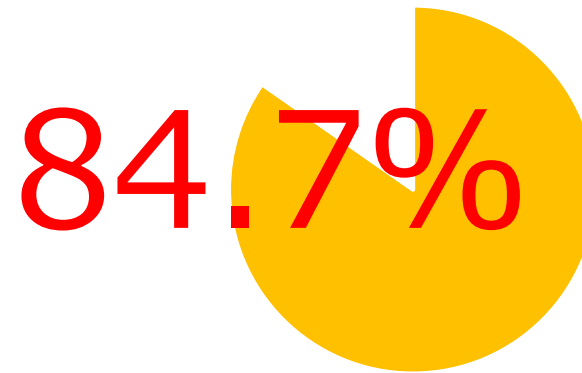


身につけた能力・資質について〈国際教養学部〉

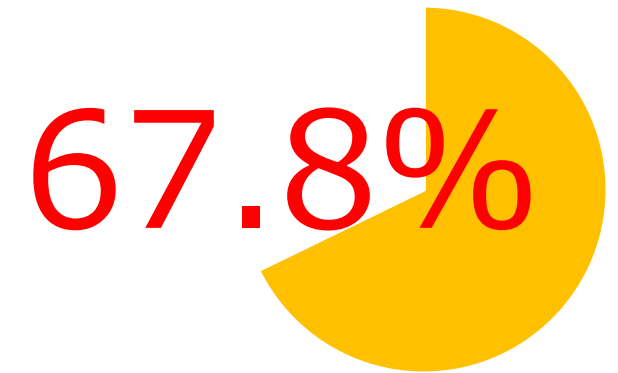
1. 国際人としてのアイデンティティを確立し、異文化に柔軟に対応するグローバルリテラシーを有する人材



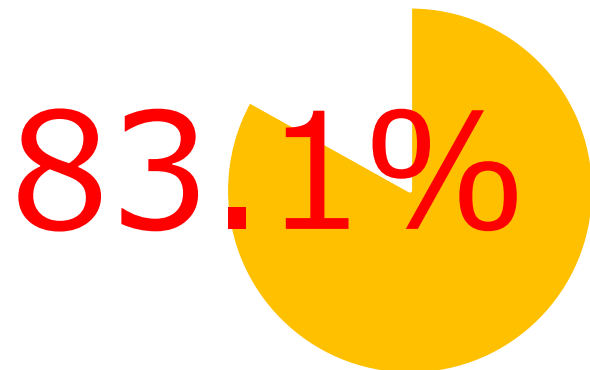
2. さまざまな専門領域を横断する知識と多角的視点を有する教養豊かな人材



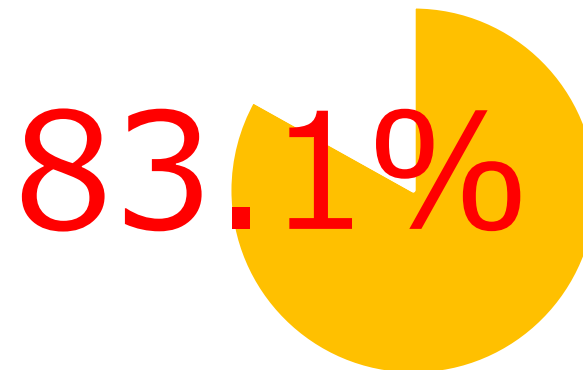
3. 高い対人関係能力・コミュニケーション能力を有する人材



4. 常に社会に関心を持ち、高い職業意識と自己管理能力を有する人材

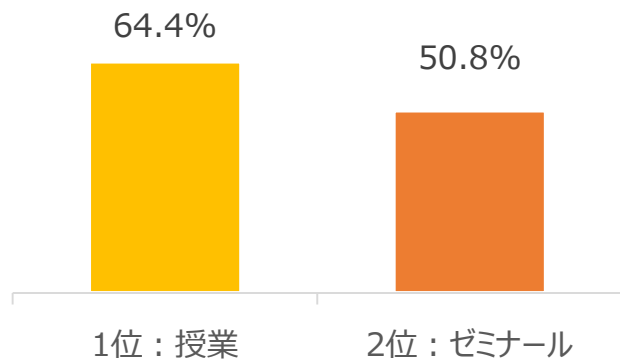


5. 自由な発想で問題発見・問題解決能力を有し、時代の変化に対応できる人材

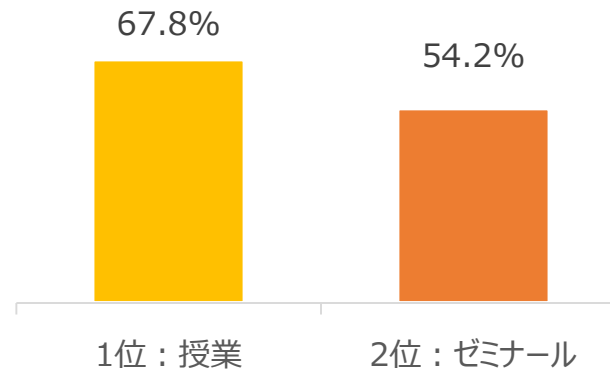


能力・資質が身についた活動について〈国際教養学部〉

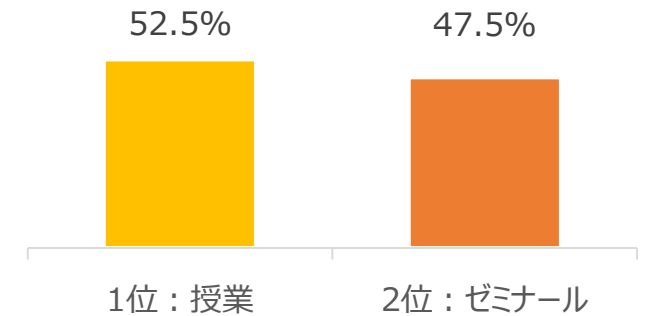
1. 国際人としてのアイデンティティを確立し、異文化に柔軟に対応するグローバルリテラシーを有する人材



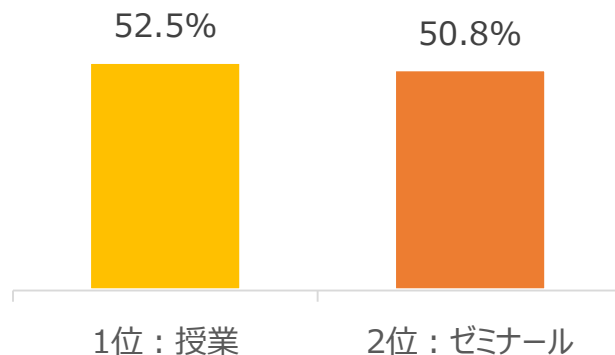
2. さまざまな専門領域を横断する知識と多角的視点を有する教養豊かな人材



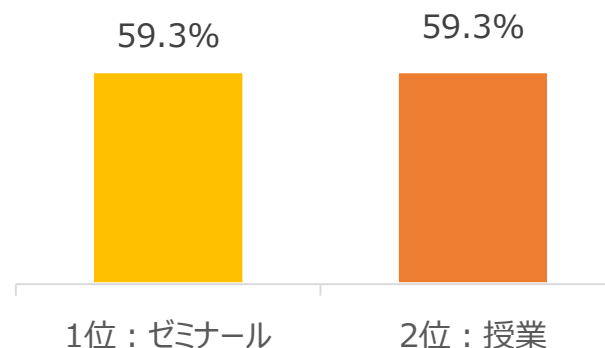
3. 高い対人関係能力・コミュニケーション能力を有する人材



4. 常に社会に関心を持ち、高い職業意識と自己管理能力を有する人材



5. 自由な発想で問題発見・問題解決能力を有し、時代の変化に対応できる人材



1. 良い点

1. 大学生活を振り返ると、95.4%の学生が満足をしている。
2. 「大学で経験して良かったこと」については、教育学部は上位から、「教育実習（50.7%）」、「部活動・サークル活動（49.3%）」、「授業（47.9%）」、国際教養学部は上位から「授業（64.4%）」、「ゼミナール（54.2%）」、「アルバイト（33.9%）」であり、昨年引き続き授業の満足度が高いことが推測される。
3. 卒業後の進路については、昨年度から3.7ポイント上昇し81.5%の満足度となった。
4. 多くの学生が、主に「授業」および「ゼミナール」とおして「身につけるべき能力や資質」を身につけたと回答している。

2. 懸念点

1. 国際教養学部のディプロマポリシーにおける「身につけるべき能力や資質」について、高い対人関係能力・コミュニケーション能力を有する人材の項目が昨年度より20.6ポイント低下し、コロナ禍で友人や教員等とのコミュニケーションの機会が減少したことが影響しているものと考えられる。

3. その他

1. 「大学生活でやり残したこと、後悔」については、教育学部は、「やり残したこと、後悔することはない（20.5%）」が最も多く、次いで「学部を超えた友人をあまり作らなかった（13.1%）」が多い。
国際教養学部では、「専門科目の勉強が不十分であった（15.7%）」が最も多く、次いで「勉強以外の交遊をあまりしなかった（9.6%）」、「やり残したこと、後悔することはない（9.6%）」、「学部を超えた友人をあまり作らなかった（9.6%）」が多い。